



私たちも 新型コロナウイルス と戦っています。

いまだその猛威は衰えない新型コロナウイルス。地下鉄駅の業務はストップすることはできない。その一方で、感染リスクを高めることがあってはならない。歩みを止めることで皆さまの安全、安心の確保がおろそかになるようなこともあってはならない。その想いから私たちはさまざまな挑戦をしています。



「地下鉄駅便り」は当公社HP <https://www.stsp.or.jp> にも掲載しております。
発行:(一財)札幌市交通事業振興公社 駅管理部

少しでも減らしたい。 皆さまの感染リスク。



一部改札口付近に検温器と消毒液を準備しています。

消毒液つきの検温器を一部の改札口に設置しました。
南北線さっぽろ駅、アピア入口前や地下歩行空間入口付近、大通駅三越百貨店前、丸井今井札幌前など、十三か所に設置しています。
各駅事務室前に設置している消毒液も引き続きご利用ください。



沿線高等学校と協力し、
マナー啓発活動をします。

地下鉄駅沿線の一部高等学校にご協力いただき、「乗車中は会話を控える」よう呼び掛けるポスターの掲出とティッシュの配布をお願いします。



職場内の感染対策にも、
手を抜きません。

出勤点呼の際、体調確認とあわせて検温を実施しています。
休憩室内などにビニールシートでパーティションを設置、食事中以外はマスク着用を徹底しています。
また、急病人の対応のためアイガードを配置しました。



活動にはリスクが伴う。
それでも皆さまの
安全、安心を守りたい。



感染リスクを避けながら、
日々研鑽を続けています。

かつては大勢がひとか所に集まり対面でおこなっていた研修を、できる限りテキストや視聴教材を利用してのリモートで実施しています。
救命講習など実施が必要であり、実技が欠かせない研修は、少人数で広い空間を確保し感染対策を徹底して実施しています。